



信頼 努力 協同

狭山台中だより

狭山市狭山台 4-2-6

04-2958-6791

令和3年11月4日 第12号

学校教育目標

◎学び合う生徒

◎考えて行動できる生徒

◎高め合う生徒

「全国」と「埼玉県」の学力状況調査の結果です

○全国学力学習状況調査 結果について（5月27日実施） 中学3年生対象

1 調査の目的

本調査は、全小中学校を対象にした調査であり、その目的は「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立て、さらに、そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」（実施要領より）ことです。

本校では、この趣旨に基づき、調査結果を踏まえ、教育計画等を見直し、改善を図って、生徒への学習指導の充実に努めてまいりました。結果の概要を保護者並びに地域の方々にお示しすることで、生徒の学習状況と本校の取組についてご理解をいただき、今後も引き続き狭山台中学校の教育にご協力ご支援をいただきたいと思います。

なお、この調査により測定できるのは、あくまでも生徒が身につけるべき学力の特定の一部であり、また、学校における教育活動の一側面であること、以下の考察は、平均回答率からの考察であり、本来は、生徒一人ひとりの課題を明確にし、課題解決のために利用すべきものであることをご理解くださいますようお願いいたします。

2 全国・埼玉県・本校の平均正答率及び正答数の比較 調査数 166/184人

第3学年	国語		数学	
	平均正答率	平均正答数/14	平均正答率	平均正答数/16
全国	64.6	9.0/14	57.2	9.1/16
埼玉県	65.0	9.1/14	57.0	9.1/16
狭山台中	67.0	9.4/14	61.0	9.7/16

3 考察

【国語】・全国平均正答率より**2.4ポイント高い**。問題数にすると0.6問の差である。登場人物の言動の意味を考えて内容を理解する問題がやや平均を下回ったが、総じてどの問題も平均を上回っている。

【算数】・全国平均正答率を**2.8ポイント上回って**おり、高めの水準である。問題数にすると0.6問の差である。扇形の中心角と弧の長さの関係や面積の関係について、関数の意味の理解については、平均値をやや下回っているが、ほとんどの問題で全国平均を上回っている。

校長のつぶやき 卒業生もがんばっています！！

3年生の面接練習がはじまりました。みんな自分の進路について真剣に向き合っているのが分かります。大切な11月です。

11/2の夕方、卒業生が学校を訪ねてくれ、高校卒業後の進路や高校での活躍のこと、苦労話など報告に来てくれました。

2人とも高校では野球部に在籍、大変礼儀正しく、遅しく、台中卒業後3年間でさらに成長したことが伺えます。卒業生の活躍や元気な姿は、すごくうれしい。我々教職員や後輩たちにた

くさんのエネルギーを与えてくれます。高校卒業後も夢に向かって頑張ってください！応援しています！台中も頑張ります！



○埼玉県学力学習状況調査 結果について（5月11日実施）1年生～3年生対象

1 調査の概要

埼玉県教育委員会は、平成17年度から学力・学習状況調査を実施してきましたが、平成27年度から内容を一新した「埼玉県学力・学習状況調査」を行っています。これは、子供たちが現在の實力を知り、「どれだけ自分が伸びたか」を実感し、自信を深めていくことを大切にしたいとの考えで行われているものです。そして、自信を持った子供たちが、自分をさらに伸ばし、自分のよさを活かしていけるような教育を進めていきたいと考えています。

埼玉県の学力調査は、「学習した内容がしっかりと身に付いているのか」という今までの視点に、「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という視点を加えることで、子供たちの成長していく姿が見える、全国でも初めて作られた調査で、注目されています。「学力の伸び」は、子供たちの1年間の学習成果であるとともに、教育委員会や学校の取組の成果でもあります。埼玉県学力・学習状況調査で示す、子供の「学力の伸び」と「教育委員会や学校の取組の変化」の関係を検証することで、今まで以上に取組の効果を確かめることができると考えています。（県HPより一部改）

2 埼玉県・本校の平均正答率と学力レベル及び昨年度からの伸び

		1年		2年			3年		
		国語	算数	国語	数学	英語	国語	数学	英語
埼玉県	平均正答率	61.3	59.4	63.1	59.1	62.6	68.1	58.1	60.0
	レベル平均	8C	7B	8B	8C	9B	9C	8A	10C
	前年からの伸び	-	-	+1	+2	-	+2	+2	+2
狭山市	平均正答率	61.7	61.2	62.1	60.4	60.7	67.0	60.6	60.5
	レベル平均	8C	7B	8B	8B	9C	9C	8A	10C
	前年からの伸び	-	-	+1	+4	-	+2	+2	+2
狭山台中	平均正答率	62.6	62.5	61.6	58.8	61.1	67.2	62.0	61.8
	レベル平均	8C	7A	8B	8C	9C	9C	9C	10B
	前年からの伸び	-	-	+1	+3	-	+1	+2	+3

調査数

206/212人

177/184人

170/184人

【1年生】国語 平均正答率は、県平均より1.3ポイント高い。どの分野も平均的によくできている。

算数 平均正答率は、県平均よりも3.1ポイント高く、県の学力レベルよりも1レベル高い。どの分野も平均的によくできている。特に、計算やデータの活用が良くできており、全体的に基本的な力が身につけている。

【2年生】国語 平均正答率、県平均よりも1.5ポイント低い。レベルは県と同程度である。漢字や語句、文法問題は今後も練習を積み重ねていく。読解力や書く能力について力をつけていく手だてを講じていく。

数学 平均正答率は、0.3ポイント低い。レベルは昨年より3レベル伸びており、県の平均伸び率よりも1段階多く伸びている。計算問題でのミスが目立つので、反復練習を行うことで向上すると考えられる。

英語 平均正答率が1.5ポイント低く、レベルも県レベル1段階低い。特に、読むこと・書くことに課題があり、語彙力を高める活動、各活動を取り入れて強化していく。

【3年生】国語 平均正答率は、0.9ポイント低い。レベルは県と同程度である。漢字や書き問題はおおむね好成績だが、読み取りに課題がある。文章読解力を高める手だてを講じる。

数学 平均正答率は、3.9ポイント高く、レベルも県より1ランク高い。昨年からの伸びは県と同程度であり、数学の力は高水準を保っている。どの分野も総じて平均を上回っており、特に資料の活用においてよい結果が出ている。

英語 平均正答率は、1.8ポイント高く、レベルも県より1ランク高い。昨年からの伸びは県より1段階高く伸び率が高いことを示している。全体的に平均を上回っているものの聞くことの領域に課題が見られ、ネイティブの発音を聞く機会を増やすなど、聞く力の向上のための手だてを講じているところである。

お詫びと訂正 前号（10/26 第11号）でお知らせしたスポーツフェスティバルの結果に誤りがありました。お詫びして訂正します。 **準優勝 青団** 3年3組（誤）→**3年2組（正）** ※2組と3組の皆さん、失礼しました……